

速報

京都・細見美術館にて、2026年春開催

101歳を迎えた志村ふくみ氏の最新作「夢の浮橋」を初公開

開催趣旨

2001年、2013年に続き、第3弾となる志村ふくみ展を開催する。志村ふくみは、
紬織の重要無形文化財保持者(人間国宝)であり、随筆家としても知られる染織作家。
2025年秋に101歳を迎えた現在も、美しいものを手に取りながら穏やかな日々を過ごし、
自然や色彩への深いまなざしを持ち続けている。

本展では、『源氏物語』や「紫」、そして作家、石牟礼道子^{いしむれ みちこ}原作の新作能『沖宮』^{おきのみや}の能装束など近年の特徴的なテーマを中心に、作品と紡がれた言葉とによって70年にわたる表現の軌跡をたどり、色彩、生命、自然への尽きることのない思索と未来へ語り継ぐ言葉を紹介する。本展を機に構想・制作された作品2領の初公開となる。



作家プロフィール

志村ふくみ氏

Fukumi Shimura

滋賀県生まれ。染織家、随筆家。

31歳のとき母・小野豊の指導で植物染料と紬糸による織物を始める。

重要無形文化財保持者(人間国宝)、文化功労者、第30回京都賞(思想・芸術部門)受賞、文化勲章受章。京都市名誉市民。

著書に『一色一生』(大佛次郎賞)、『語りかける花』(日本エッセイスト・クラブ賞)、『ちよう、はたり』など多数。作品集に『織と文』、『篝火』、『つむぎおり』など。



《若紫》 2007 年
染料：紫根、茜 前期展示



長絹《紅扇》 2018 年
志村ふくみ監修 制作 都機工房
染料：紅花、藍、刈安
後期展示

開催概要

覧覧会名 **特別展「志村ふくみ 百一寿 一夢の浮橋」** 巡回予定はありません

会期 2026年3月3日(火)～5月31日(日)
[前期] 3月3日(火)～4月12日(日)
[後期] 4月14日(火)～5月31日(日)

開館時間 午前10時～午後5時

休館日 毎週月曜日(祝日の場合、翌火曜日)

入館料 一般 2,000 円 学生 1,500 円

主催 細見美術館、京都新聞(予定)

協力 都機工房、アトリエシムラ

監修 志村洋子

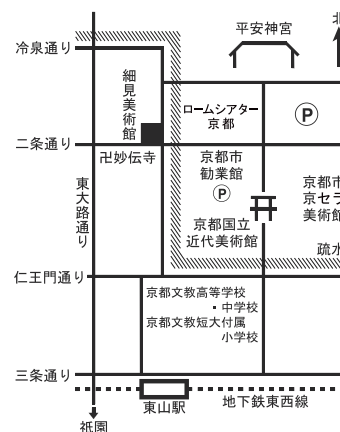
会場 細見美術館 京都市左京区岡崎最勝寺町6-3

* 会期・営業日時等を変更する場合があります。最新情報は WEB サイトをご覧ください。

【細見美術館 WEB サイト】 <http://www.emuseum.or.jp>

【細見美術館公式 SNS】 X @HosomiMuseum

Instagram @hosomi.museum



- 市バス「東山二条・岡崎公園口」下車、徒歩3分。
- 市バス「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車、徒歩5分。
- 地下鉄東西線「東山」駅下車、徒歩10分。

ご来館には公共交通機関をご利用ください。

2026年3月2日(月)に報道鑑賞会を予定しております。
展覧会の最新情報はWEB サイトにて随時更新いたします。

報道に関するお問い合わせ

細見美術館 広報担当 大塚

kouhou@emuseum.or.jp

TEL: 075-752-5555 (代) FAX: 075-752-5955 (代)



細見美術館WEBサイト